

現場測定器

ワイヤレス技術で進化

電気設備の施工や保守、メンテナンスなどの作業に欠かせないハンドヘルド型の測定器は「現場測定器」と呼ばれ、電圧や電流などを計測する。機能や性能面に加え、近距離無線通信規格「Bluetooth」を搭載することで、スマートフォンやタブレット端末と連携する機器の投入が加速している。同時にアプリケーション（応用ソフト）による測定結果などの処理において、作業や管理者の利便性を高めている。

スマホ連携機器投入加速

現場測定器はブルーのや対象に合った多くのトウイスなどのワイヤの測定器が用意されている。マルチメーターは直流（DC）と交流（AC）の電圧、電流、抵抗などの測定を1台で行える。測定値を指針やクランプメーター、表示するアナログディスプレイと、デジタルで表示するタイプがある。絶縁抵抗計は電気機抵抗計のほか、照度計器や電路の絶縁状態などがある。測定の日

こうした現場測定器表示する視認性などにBluetoothステバ作業者の測定要望を反映しており、作業効率を高められている。

同社のペン型の絶縁抵抗計「KEW6041BT」は、同社アプリ「JECA Fair Smart」に対応。FAIR2023（第71回電設工業展）の製品コンクールで、経済産業大臣賞に輝いた。アプリを介して端末側で、リアルタイム表示や測定値の記録ができるほか、設定の変更や各機能のオン/オフ、基準値などを作業者向けにカスタマイズができる。

測定者1人で現場対応

またアプリでは端末側の使いやすさや利便性、測定値を波形やグラフ表示する視認性など、ユーザーの測定要望を反映し、作業効率を高める。共立電気計器は自社開発した測定記録アプリ「KEW Smart」（キユースマート）を提供している。同社のアプリは、端末側の録支援システム「BLUE（ブルー）」は共立電気計器などワイヤ

共立電気計器

共立電気計器はBluetoothを搭載し、自社開発したモバイル端末対応測定記録アプリ「KEW Smart」と連携する現場測定器のラインアップを強化している。対応機種は片手で測定できるペン型絶縁・接地抵抗計「KEW6041BT」をはじめ、コンセントテスター、照度計など8種。これら現場用測定器の一部は他社開発の建設図面、現場管理アプリや測定記録支援システムなども連携できる。同Smartは測定結果をモバイル端末の画面に表示し、データを保存。さらに任意のエクセル帳票に測定結果を表示して出力する。測定結果を直接データ化するため、手書きによるミスや作業工程の削減に貢献する。

調べる。これは保安管は適切な照度が求められる。これは重要な測定項目の一つである。環境に合わせた照度照度計は室内に照らの確保が重要で、日本される明かりを取り込産業規格（JIS）でみ、光を電気信号に変は環境に合わせた推奨換して数値化する。住値の基準が設けられて宅やオフィス、工場、いる。学校、商業施設などで



共立電気計器は、ペン型絶縁・接地抵抗計などを提案（JECA FAIR2023）

レス技術を搭載した国内メーカーの現場用測定器を対象に、測定データをパソコンやタブレット端末で受信し、CADやPDFの図面、表計算ソフトウェアのエクセルに直接入力できる。ワイヤレス技術を生かした現場測定器やアプリは、働き方改革の推進や効率化に貢献しており、販売コストでは見えない作業効率の向上、省人化など高いメリットを背景に注目を集めている。

片手で使える絶縁接地抵抗計

- 絶縁抵抗計 50/125/250/500V
- 簡易接地抵抗計 200/2000Ω
- 電圧計 AC/DC 440V

測るだけでは終わらない。アプリで測定結果を記録する。

